修行大師は若き空海さまご修行のお姿 ㊁

山門を入ってすぐ左側に本堂に向いて行脚姿の立像で現されています。右手に錫杖、左手に鉄鉢を持ち諸国を巡歴された時のお姿。このお像は昭和 57 年、檀家の山崎俊久さん（壚下）が寄贈くださいました。実はこちらお大師さま（弘法大師・空海）、なんと！そのお姿の通り境内を歩かれました（◎_◎;）　元々は本堂側にいらっしゃったんですが、庫裡客殿建設の際（平成 24 年）に今の場所まで錫杖片手に移動したんですよ〜

宝号　南無大師遍照金剛（なむだいしへんじょうこんごう）
縁日　21 日

錫杖（しゃくじょう）
修行僧が山野遊行の際、禽獣や毒蛇の害から逃れるため、これをゆすって音を立てながら歩く。その清らかな錫の音はあらゆる衆生の厄災を祓い、悟りへと導きます。

網代笠（あじろがさ）
竹を網代に編んだ笠。修行中の身であるがゆえ、顔を隠して外の世界と関係を絶つという意味合いもある。

荷俵三衣（にださんね）
筵（むしろ）(野宿シート）を背中に背負いその中に三衣（僧侶が付ける三種類の袈裟）を巻き込んでいる。

鉄鉢（てっぱつ）
僧侶が托鉢（たくはつ）で食物などを受けるのに用いる。（よく晴れた日に雨水が溜まった鉄鉢に小鳥が止まり、水をついばむ姿を見かけると何とも幸せな気持ちになります）

写仏（なぞり描き）

仏像の手本をなぞることで、心安らぐひと時を感じることができます。筆ペンや色鉛筆など好きなもので描いてみましょう！
「為」の下には願い事を（例：家内安全、身体健康、商売繁盛、疫病退散など）
「願主」の下にはお名前を書いて、家の仏壇等にお飾りいただくか、弘済寺に奉納下さい。

弘済寺
修行大師像

為

令和　年　月　日

願主